

整理番号	HT28282	分野	医歯薬学・生物	(キーワード)小児科学
------	---------	----	---------	-------------

川崎医科大学大学

遺伝病治療に役立つための基礎医学研究 (実験結果を大切にすること)

先生(代表者)	栗林 太(くりばやし ふとし)医学部・教授			
自己紹介	<p>職場と岡山のあまりの住み良さに、あっという間に7年が過ぎました。本学を初めて訪れる中学生の方々には、実験や研究以外にも、地域の方々の中にある川崎医大を見ていただきたい。私自身中高生の子どもがおります。当日は皆様にお会いできることを楽しみにしています。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 8 月 27 日(土)	(対象)	中学生	(人数) 20 名
集合場所・時間	川崎医科大学校舎棟6階	(集合時間)	10 時	
開催会場	<p>川崎医科大学校舎棟6階 M610 室 住所: 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 アクセスマップ: http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/access/01.html</p>			
内 容				
<p>小児科を中心とする遺伝病に関する正確な知識と治療のための基礎研究の方法を学んでいただきたい。講義では中学1年生の基本的な内容から始めます。例えば、細胞とは何か？あるいは、細胞の中には何があるのか？等から始めます。実験では、その細胞からDNAを取り出し、目的遺伝子を目に見える実験方法を体験してください。最終的には、中学生の皆様が実際に行った実験データの意味に関して全員で討論を行いたい。</p> <p>講義の合間に、キャンパスツアーとして、本学に隣接する現代医学教育博物館での体験学習を行います。ここでは受講者に「遺伝子異常と病気」に関して館内を探検しながら自発的に探求してほしい。例えば、「がん」関連の展示では、遺伝子の異常のみならず、環境の変化でもがん化、即ち遺伝子に修復不能な傷ができることを学ぶ、あるいは想像できるようになってほしい。実験と講義、博物館探索を総合して遺伝子と遺伝子からできるタンパク質に関して確固たる考え方を学ぶ。</p> <p>1日のプログラムを通して、科研費により多くを賄われている本学の研究の一部だけでも紹介することにより、科学立国である日本の将来を担う中学生の方々の知的想像力を育てることの一助としたい。</p>				



スケジュール	持ち物
9:30～10:00 受付(川崎医科大学校舎棟1階)、校舎棟6階集合	・筆記用具 ・(持っている人は)白衣 ・飲み物・水筒など (熱中症予防のため)
10:00～10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:20～11:00 講義①(遺伝子について)	特記事項 ・ランチタイムのお弁当・お茶は大学で用意しますが、アレルギー等で除去食が必要な方は昼食等をご持参ください。 ・保護者の方々や引率教員など学校関係者の同伴・見学を歓迎します。
11:00～12:00 キャンパスツアー(本学現代医学教育博物館での体験学習)	
12:00～13:00 ランチタイム討論会(博物館での体験と遺伝子病について)	
13:00～15:00 実験①(遺伝子実験の実際)	
15:00～15:30 クッキータイム	
15:30～16:00 実験②(遺伝子実験を例とした可視化の重要性について)	
16:00～16:30 質問と討論	
16:30～17:00 講義②(自分の実験結果を信じることから始める)	
17:00～17:20 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
17:20 終了・解散	

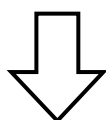
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	川崎医科大学 生化学教室 栗林 太(くりばやし ふとし)
住所：	701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 番号：	086-462-1111(内線 26520)
FAX 番号：	086-462-1199
E-mail：	hirameki@med.kawasaki-m.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月27日(水)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、8月10日(水)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
栗林太	H27-29	基盤研究(C)	15K09671	慢性肉芽腫症における遺伝子変異の除去による治療法の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。